

ウェルBOX-右京

うきよ

発行 社会福祉法人 京都市右京区社会福祉協議会
京都市右京区ボランティアセンター
京都市右京区太秦森ヶ前町22-3 TEL 075-865-8567/FAX075-865-8569
発行人 原 健 編集人 玉置すみゑ
URL: <http://www.ukyoku-syakyo.net> E-mail info@ukyoku-syakyo.ne.jp

第24号
平成26年11月

まちが生き活きと輝く

高齢

障害

児童

赤い羽根
共同募金

あたたかいご協力をお
願い申し上げます

10月1日～12月31日

3分野による活動実践報告

第26回右京福祉のまちづくり学校

右京区ボランティアセンター情報



災害弱者を見逃すな！
要配慮者支援訓練

ボランティア入門講座

2014.7OPEN

おれんじサロン右京

ボランティア・市民活動 NEWS

8月京都府豪雨災害

139名のボランティアが作業に参加

“地域福祉の応援団募集”

お寄せいただいた賛助会費は、地域の福祉活動に大切に使用させていただきます。
引き続き、社協活動[賛助会員募集活動]にご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

支え合い助け合うまちへの期待

基調講演

講師:土井 勉 氏
(京都大学大学院特定教授)



今年で26回目を迎える「右京福祉のまちづくり学校」では、地域支援者220人が集まる中、高齢、障害、児童の分野ですすめられる福祉活動の社協と民協をはじめとする各種団体とのつながりについて活動報告がおこなわれました。

まず、右京区区民会議でも活躍され、右京かがやきプランの策定にも携わっておられる土井勉先生(京都大学大学院特定教授)より「支え合うまちへの期待」と題した基調講演が行われました。

この中で、「地域の問題は、これまで地域の中での支え合いで解決してきたはずですが。これまでの支え合いの仕組みは、単身高齢者や配慮が必要な方の見守り、買物難民、災害など様々な課題が積み重なる今日、従来の支え合いだけでは対応が難しくなっています」と話され、今日の課題の解決に向けて、“まちが生き活きと輝き続ける3つの要素”をご指導いただきました。

そして、「これまでから地元の人たちが地域の問題について、自律的に取り組む活動は、環境を改善していくための活動であり、それらを行っていくためには。①場の設定、②参加のデザイン、③計画を実現していくことが大切」と会場内で講演に熱心に耳を傾ける地域支援者らにメッセージが送られました。さらに、「右京区にはこれまでからも今日の課題の解決に取り組む良い例がたくさんあります。成功されている取り組みの共通点は、活動を支える人たちが”愉しく活動ができている”、”無理なく活動が続けられる”ことがとても大切であり、町の問題を自分のこととして考えて、小さな成功体験を積み重ねていくことが大事です。」と、これまでの右京区での様々な取り組みから学ぶべきポイントを教えていただきました。また講演の最後には、「まちづくりは、ひとりではできないから、皆で協力していくことは必要です。そのためには、若い人から年配者までが『こんなまちにしたい』という夢を持って、みんなで協力していきましょう」と、魅力的なまち・右京区を創っていくためのエールが伝えられました。



第26回右京区社会福祉大会

9月5日(金)京都国際ホテルで開催

92名・1団体に表彰授与

長年にわたり右京区の地域福祉に貢献いただいた方々の功績を称える「右京区社協会長表彰」として、右京区社会福祉大会第1部式典において学区社会福祉協議会功労者の24名を含む92名1団体に表彰状が授与されました。

受賞されました皆様、おめでとうございます。



受賞者代表による謝辞

本会は、『誰もが「ひとりの人間」として尊重され、安心して暮らせるまちづくり』を目指して、取組みをすすめています。今回の「右京福祉のまちづくり学校」の後半は、“広がる人の輪、つながる人の輪”をテーマに身近な地域で絆づくりをすすめる福祉3分野(高齢・障害・児童)の活動実践報告が行われました。その一部をご紹介します。

高齢分野

社協と民協、老人福祉員との連携
高齢者を見守る！

報告団体

嵯峨野社会福祉協議会

「学区社協の役員の大半は地域の各種団体の役員も兼ねているため社協事業に専念することは難しい」と、学区社協が抱える課題に既存の事業の見直しと、必要とされる事業が円滑に機能する組織づくりに力をいれています。

嵯峨野学区においても高齢化は深刻な問題であり、独居高齢者や高齢者世帯の数は年々増加傾向にあります。町内会に加入されている世帯であれば、どこに対象者がおられるかなど実態を把握することができますが、町内会の未加入の場合には実態を掴むことができず、対象となる方に必要な事業の案内もできません。そこで、まずは町内会に加入していただきたいと、学区の地域情報を伝えるためのホームページを開設したり、配慮が必要な方を見逃さないために町内単位で福祉推進委員を設置するなど、特に学区社協の組織体制の整備に力を入れています。

その中、65歳以上の独居高齢者を対象にした“緊急医療カプセルの配布”を25年度の新たな取組みとして打ち出し、社協がもつ高齢者名簿と民生委員・老人福祉員がもつ情報とを照合させ対象者の見落としがないかの確認を行っています。社協と民生との連携により25年度は750セットを配布しました。「直接訪問して手渡すことで顔の見えるつながりが出来てきた。この事業を一つの柱として地域全体で見守り活動を継続させたい」と報告がありました。

児童分野

社協と民協、主任児童委員が連携
孤立を防ぐ

報告団体

山ノ内社会福祉協議会

「子育てサロンに来られる親御さんを出迎えるだけでなく、より身近な地域で一人でも多くの人を見守りの目で見守りと支え合いができれば」と、赤ちゃんが生まれた世帯(生後5か月まで)にお祝いのメッセージカードや地域で作るマップなどをお届けする「生まれてくれてありがとう・出生祝い事業」について山ノ内社協より活動の実践報告です。

この事業の特徴は、町内単位で設置される社協町内会長や社協町福祉委員(町内会長など)が窓口となり、対象世帯の把握を担っています。町内を通じて上がってきた対象宅には、町内の役員さんとともにそのエリアを担当する民生委員・主任児童委員が訪問し、地域の情報と困った時の相談窓口であることを伝えていきます。

転入者も多い山ノ内学区では、「学区に新しく生まれてきてくれたお子さまを地域の宝として地域全体で見守っていますよ」と子育て世帯に安心してもらいたいという思いを話されます。「『あなたは一人じゃない』ということを実感してもらうことで、新たに町内会に加入していただけたご家庭もありました」と、まさに、事業をきっかけにして、向い三軒両隣のつながりを再構築させ、地域支援者がさりげなく見守る地域の絆づくりについてご報告をいただきました。

障害分野

理解を拡げる地域と施設とのつながり

報告団体

右京障害者就労・
生活支援事業所ネットワーク

障害の種別を越えて障害のある人の生活を豊かにすることを目的に区内の障害福祉施設が主体となった右京障害者就労・生活事業所ネットワーク(Uネット)は、年8回のサンサ右京で開催される『福祉屋台』など、区民の皆様のおかげで理解の輪が広がってきています。また、今回は「重度障害者通所介護じゅらく」「京都難病支援パッションエ」京北やまぐにの郷」の3つの事業所より地域と施設の数多くの取組みについてご報告いただきました。

みんなの力が右京区を

元気にする ◆賛助会員制度◆

右京区社協では、区民の皆様のご理解と参加・応援のもとで、区社協と学区社協が取り組む地域福祉活動を充実させるため、賛助会員を募集しています。

賛助会員とは、区社協と学区社協の活動の趣旨・目的に賛同し、区内の地域福祉活動を財政的に支援(賛助会費)いただく“地域福祉の応援団”です。

平成25年度賛助会員募集
ご協力いただきありがとうございました。



寝具クリーニングサービス事業



平成25年度 賛助会費募集実績一覧

学区名	世帯数	賛助会費 (円)
太 秦	8,202	2,318,100
南太秦	2,335	521,000
常磐野	6,107	850,300
安 井	3,137	907,600
嵯峨野	6,117	1,086,200
山ノ内	4,962	667,270
西院第一	4,695	537,615
西院第二	7,399	854,500
梅 津	4,756	646,700
北梅津	3,859	791,600
嵯 峨	4,920	1,442,300
広 沢	3,141	770,000
嵐 山	3,812	437,000
水 尾	27	17,000
宕 陰	58	70,000
花 園	2,739	657,300
御 室	4,113	935,400
宇多野	3,725	536,500
高 雄	864	490,000
西京極	8,207	847,950
葛野	5,581	480,000
京北	2,052	442,500
合計	90,808	16,306,835



配食サービス事業



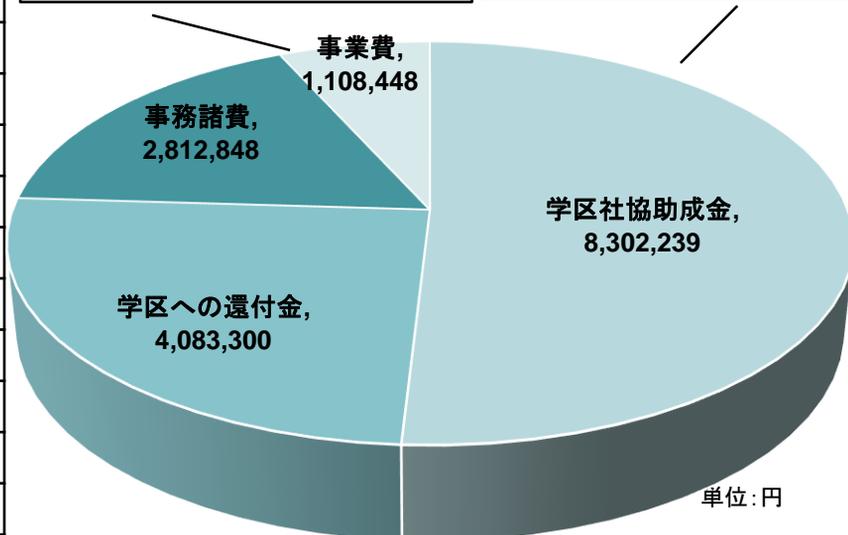
福祉まつり



平成25年度 賛助会費の使途内訳

- 右京区社協が実施する主な事業
- ①地域福祉活動計画の推進
 - ②右京区社会福祉大会の開催
 - ③右京区ボランティアセンター事業
 - ④子育て支援事業
 - ⑤福祉総合相談事業
 - ⑥各種ネットワーク事業

- 学区社協が実施する主な事業
- ①在宅老人ふれあいまちづくり事業(会食会・茶話会、配食サービスなど)
 - ②障害者地域交流事業
 - ③寝具クリーニングサービス事業
 - ④広報誌発行事業
 - ⑤ボランティアスクール
 - ⑥介護者家族懇談会
 - ⑦地域まつり・福祉大会
 - ⑧子育て支援活動推進事業
 - ⑨学区社協重点活動プラン



平成26年度も賛助会員募集を行います。ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひします。

平成25年度
右京区社協決算報告(概要)

【資金収支計算書】

(自)平成25年4月1日 (至)平成26年3月31日

一般会計

単位:円

経常活動による収支
収入

勘定科目	予算額	決算額	差異
会費収入	18,085,000	17,631,335	453,665
寄附金収入	2,250,000	2,340,000	-90,000
経常経費補助金収入	32,828,000	31,916,000	912,000
受託金収入	23,251,000	28,686,777	-5,435,777
事業収入	3,419,000	3,359,740	59,260
共同募金配分金収入	9,011,000	9,010,135	865
その他の事業収入	97,000	156,970	-59,970
雑収入	422,000	520,637	-98,637
受取利息配当金収入	338,000	345,360	-7,360
経理区分間繰入金収入	13,523,000	13,523,000	0
経常収入計①	103,224,000	107,489,954	-4,265,954

支出

人件費支出	48,068,000	46,281,316	1,786,684
事務費支出	3,062,000	2,816,848	245,152
事業費支出	14,323,000	12,698,440	1,624,560
助成金支出	27,846,000	28,567,224	-721,224
負担金支出	100,000	120,000	-20,000
経理区分間繰入金支出	13,523,000	13,523,000	0
経常支出計②	106,922,000	104,006,828	2,915,172
経常活動資金収支差額 ③=①-②	-3,698,000	3,483,126	-7,181,126

平成25年度は、当初の計画で立てた4つの重点課題(①住民主体の小地域福祉活動の推進、②区社協運営施設の円滑な運営、③区社協法人化20周年に伴う事業の実施、④総合相談機能の充実)の達成に向け役職員一丸となって取組を進めてきました。

なお、平成25年度の資金収支計算書は下記のとおりです。ご参照ください。

施設整備等による収支
収入

施設整備等寄附金収入	0	0	0
施設整備等収入計④	0	0	0

支出

固定資産取得支出	2,320,000	2,022,900	297,100
施設整備等支出計⑤	2,320,000	2,022,900	297,100
施設整備等資金収支差額 ⑥=④-⑤	-2,320,000	-2,022,900	-297,100

財務活動による収支
収入

積立預金積立収入	8,112,000	9,613,468	-1,507,468
財務収入計⑦	8,112,000	9,613,468	-1,507,468

支出

積立預金積立支出	6,000	7,659	-1,659
財務支出計⑧	6,000	7,659	-1,659
財務活動資金収支差額 ⑨=⑦-⑧	8,106,000	9,605,809	-1,499,809

予備費⑩

予備費⑩	0		
当期資金収支差額合計 ⑪=③+⑥+⑨-⑩	2,088,000	11,066,035	-8,978,035
前期末支払資金残高⑫	0	23,140,745	-23,140,745
当期末支払資金残高 ⑬+⑫	2,088,000	34,206,780	-
			32,118,780

地域の福祉活動に使われています。

助け合い事業のサポーター

赤い羽根共同募金

皆様のあたたかいご協力をお願いします
申し上げます。



10月1日▶12月31日

寄付金コーナー

右京区の地域福祉発展のため貴重な
ご厚志を賜り誠にありがとうございました。
大切にさせていただきます。

(平成25年11月~26年9月)

共同募金は地域の福祉活動の大事な財源となっています。皆様からの貴重な募金は、京都府共同募金会に集約され、高齢者、障害児者、子育て支援、住民全体の福祉活動に助成されます。内訳は、生活支援事業や社会参加支援事業、ボランティア活動や広報などの総合福祉事業などです。本会も平成25年度は、9,010,135円の配分を受けて、各々の活動に助成しました。

今年も10月1日より赤い羽根共同募金運動が展開されています。引き続き、共同募金へのご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。



乳幼児と保護者を対象とした子育てサロン・サークルの活動にも使われています。

関 五郎 様

京建労右京支部 支部長 井上 豊 様

鈴木 準隆 様

浦田 勝 様

株式会社 西村信天堂 様

匿名希望

上村 俊次 様

右京区の地域福祉発展のためご協力の程よろしくお願い致します。

右京区ボランティアセンター

http://www.ukyoku-syakyo.net

ボランティアに関する相談はこちらまで！

月～金曜日 9時00分～17時00分

TEL075-865-8567 FAX075-865-8569

(夜間、土日祝はFAXで可)

参加者
募集

災害弱者を見逃すな！

区災害ボラセン設置運営訓練 要配慮者支援訓練をおこないま

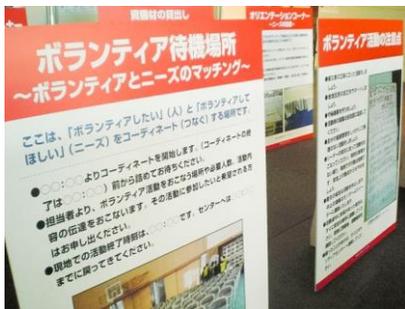
す。大地震を想定した右京区総合防災訓練が今年は、四条中学校で行われます。この訓練で右京区社協は、西院第一・第二学区をモデル学区に指定し、事前に同意を得て登録されている要配慮者名簿を使っての要配慮者支援訓練と区災害ボランティアセンター設置運営訓練をおこないます。

また、今年8月の豪雨災害により京北地域での災害ボランティアの活動を写真等で見ていただくブースも設置します。これを期に災害ボランティアセンターの役割と機能を学んでみてはいかがでしょうか。

【開催日】 11月30日(日) 9:00～12:00

【場所】 四条中学校

【訓練に関するお問合せ先】 右京区社協



ボランティア入門講座

「楽しく手話を学びませんか」

「手話を学んでみたい、でも手話は難しそう」と思っていないですか？

簡単な身振りや手話の挨拶から始めることで、聴覚障害のある方と気軽にコミュニケーションできること、また地域に住んでおられる聴覚障害のある方がどんなことに困っているのか、どのように生活しておられるのかを学ぶために、「やさしい手話教室」を開催します。手話の楽しさを体感してもらうために、歌やゲーム、実技を通して学ぶ2回連続講座です。初めての方、大歓迎です。皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 1回目 平成27年1月29日(木) 14:00～16:00

2回目 平成27年2月5日(木) 14:00～16:00

【場所】 サンサ右京5階会議室

【定員】 30名(先着順)

【申込み先】 右京区社協

【締切】 1月20日(火)



認知症の人とその家族を

2014 7月 OPEN 支える居場所

参加者
募集 & ボランティア
募集



【開催日】 毎月第3火曜日 14:00～16:00

【場所】 右京中央老人福祉センター 右京

【お問合せ先】 右京区社協

認知症の人が全国で400万人を超えと言われ、本人や家族が安心して過ごせる居場所づくりが全国的に広がりをみせています。そのような中、右京区でも、7月から月に一度、認知症の人とその家族を対象にした「おれんじサロン右京」を右京中央老人福祉センターに開設しました。

このサロンは、認知症の人や介護をしている家族が少しでもゆっくりと過ごしていただけるようカフェスタイルとなっています。また、個室も用意していますので、ちょっとした困りごとや相談も安心してお話いただけます。サロンでは、京都市うずまさ学園で作る温かい飲物やお菓子を提供させていただいています。

ご本人や家族さんだけでなく、福祉・介護の専門職も来店されますので、この場が支援者とのつなぎの場となることを期待しています。

お近くにお立ち寄りの際は是非、お越しください。

京北など豪雨被害

「市災害ボランティアセンター右京区京北ブランチ」を設置

3日間で延べ

139名のボランティアが

泥出し作業に汗



昨年9月の台風18号の被害が記憶に新しい中、今年も全国的に台風や大雨による甚大な土砂災害等が発生しました。京都でも福知山市や右京区、特に京北地域に大きな被害が出ました。

今回の災害で、常設する京都市災害ボランティアセンターでは、京都市社会福祉協議会と右京区社協、右京区役所京北出張所に協力を呼びかけ、8月19日、20日、21日の3日間、右京区京北地域にブランチ（支部）を設置。この活動にはボランティア延べ139名が参加し、15件の床下の泥出しや土砂の搬出等の支援を行いました。

復旧に「尽力」を支援いただきました皆様ありがとうございました。



被災された方を元気づけていただいたボランティアの温かい想いに感謝の声が届いています。

大きな被害を前に途方に暮れていたけど、今後の大雨に備えての土嚢も積んでいただき、安心して暮らすことができるようになりました。

実際、自分たちだけではどうにもなりません。ボランティアの方に来ていただいて、本当に助かりました。

被災して、もうどうしようもないと諦めていたけど、ボランティアの方々がこのつづばって懸命に活動されている姿を見て、もう一度がんばらないといけないと思いました。

Topix 暮らし・あんしん応援 「生活支援員」募集

右京区社協では、高齢者や知的・精神障害のある方などで判断能力が十分でない方の「福祉サービス利用」や「日常的な金銭管理」を支援する日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の生活支援員を募集しています。生活支援員は、利用者のお宅などを定期的に訪問し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援する活動です。あなたも、高齢者や障害のある方が、地域で安心して暮らしていくための支援活動を始めてみませんか？活動の内容等詳細については右京区社協までお問い合わせください。

京都市うずまさ学園 &

活動報告2014

京都市太秦障害者デイサービスセンター

右京区社会福祉協議会が運営する、うずまさ学園、太秦障害者デイサービスセンターは、開設後12年目を迎えています。「(障害があっても)普通の暮らしがしたい」そんな思いを胸に、日々の作業や活動に取り組んでいます。

実施: 5~6月 うずまさ学園(授産)小グループレク

「怖かった〜」、けど「面白かった〜」。みなさんは、「ひらかたパーク」のジェットコースターやティーカップなどを存分に楽しみ、作業するいつもの真剣な表情と打って変わって、満面の笑顔で過ごした1日でした。

一方、「染物体験・京都動物園」コースのみなさんは、じっくりと染物にチャレンジしました。鳥・花・舞妓・龍など思いの絵柄を選びます。ねっとりとした染料の加減や型紙の重ね方にさんざん苦労した甲斐あって、やっと完成したポーチやタンブラーなどを手に「できた〜、やったね!」と目を輝かせていました。



実施: 7~8月 デイサービス 小グループレク

夏の日差しが照りつける中出かけた「京都水族館」は、暑さを忘れるほど涼しく、みなさんゆったりとアザラシやペンギンなどを見て回りました。メインのイルカショーでは、イルカたちのダイナミックな泳ぎや、トレーナーとの息の合ったパフォーマンスに目を奪われ、「すごい!」「楽しかった〜」と感動の涙を見せる人も出ました。

締めくくりはお土産。みんな買い物が大好き! 家族や自分に何がいいかな〜と、あれこれ選びながら、「また行きたいね」と次のグループ活動に思いを馳せていました。



Pickup

右京区社協

誰もが「ひとりの人間」として尊重され、安心して、暮らせるまちづくりを目指して

平成26年度 右京区社会福祉協議会の重点課題

1. セーフティネット、生活支援、個別支援の取組強化
福祉的な支援が必要であるにも関わらず、対応する公的制度がない、または既存の制度では対応が難しい問題に、地域や区行政や福祉分野等からなる関係機関のネットワークとの連携によりしっかりと取り組みます。
2. ボランティア・地域支援の充実強化
当事者に寄り添う生活支援・個別支援には、地域または地域支援者の協力が不可欠です。社会的な孤立防止の基盤となる学区社協への支援を強化させるとともに、これまで以上に地域支援者と話し合う場を多く設け、福祉への理解と地域福祉を支える担い手の養成を強化します。

右京区社協の主な事業

1. 区社協会務運営
2. セーフティネット事業
3. 右京区ボランティアセンター事業
4. 地域支援事業
5. 生活支援事業
6. 共同募金配分金事業
7. 関係機関・団体・大学等

との連携

